



株式会社コンケン／藤クリーン株式会社

本社：岡山市南区浦安本町133番地2

業種：解体業

従業員数：44名

設立：1968年

資本金：4,000万円

URL：https://konken.jp/

経営理念：コンケングループは、コンプライアンスの遵守を軸とし、高度で卓越した廃棄物処理で、美しい地域環境の保全と企業の持続的繁栄に貢献し、常に新たなるサービス提供に挑む「環境価値創造企業」として、社業の繁栄と社員の幸福を実現します。



BCP策定に取り組まれたきっかけ

きっかけは岡山市との「災害時の避難場所の指定に関する協定」「災害廃棄物の撤去・運搬等に関する協定」を締結したことにより、**地域を守るためには自社の体制もしっかり整えておく必要があると考えた為（自社BCPがないと、協定を実現できないと考えた）**。

BCP策定のメリットやBCP策定・運用にあたり苦労した点

<メリット>

・人員確保、受注業務遂行協力、重機リース、キャッシュフローの確保に至るまで、どこにどのように連絡するかといった協力会社との連携もBCPに織り込むことで、**協力会社にもBCP取組みを周知でき、安心感を持って頂いている。**

<苦労した点>

・業種的にBCP連携ネットワークの構築は難しいと思うので、協力会社やゼネコンとの連携を強固にすることで生き残っていきたく考えている。

BCPの特徴・こだわりポイント

- ・災害が起きた際に、いち早く重機を動かし協定を実行させるために、グループ会社全体でのBCPを策定。
- ・何を中核事業とするか、社員の安全を考慮した上で何を一番に復旧させるべきなのか、周囲に迷惑をかけないようにするにはどうしたら良いかを、会長や社長、グループ会社メンバーも含めた災害対策本部メンバー全員で月2回ミーティングを実施し徹底的に話し合った。今後は災害対策本部メンバーによるミーティングで年に1回のBCP見直し整備も行って行く予定。
- ・トヨクモ(株)の安否確認システムを導入しているが、利用料（月額コスト）も比較的低廉であり、簡易版だと見た目もシンプルで使いやすいと思う。
- ・一度で完璧なものを作ることは難しく、都度ブラッシュアップしていけば良いと思っている。

感染症BCPについての取り組み

- ・新型インフルエンザのBCPをベースに、社員の出勤可能状況を確認するための項目等、新型コロナウイルス感染症への対応を織り込んだものを作成している。



災害対応を核としたBCPを整備
岡山市と災害時における協定も結んだ



大規模災害発生時、
地域住民の避難場所として藤クリーンを提供
バイオガーデン内に備蓄倉庫を設定。救命ボートも導入。